

第29回 -SEIKI SEMINAR- 清渓セミナー

2024年10月22日(火)～10月23日(水)
日本青年館ホテル8Fカンファレンスルーム

※感染症を含めた社会情勢および主催者の都合によりプログラムが変更となる場合がございます。予めご了承ください。

1日目 10月22日(火)

開講式・オリエンテーション ————— 12:30 ~

講義 I ————— 13:00 ~ 14:20

進化する里山資本主義

講師：藻谷 浩介 氏 [地域エコノミスト]



山口県生まれの59歳。平成合併前の全3,200市町村、海外133ヶ国を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握。地域振興、人口成熟問題、観光振興などに関し研究・著作・講演を行う。2012年より(株)日本総合研究所主席研究員。著書に『デフレの正体』、『里山資本主義』(共にKADOKAWA)など。近著に、『日本の進む道～成長とは何だったのか』(毎日新聞出版、養老猛司との対談)。

講義 II ————— 14:35 ~ 15:55

オーガニック給食の実践

講師：鮫田 晋 氏 [いすみ市農林課有機農業推進班班長]



学生時代に始めたサーフィンが縁で、2005年にいすみ市役所に転職。13年より有機米づくりの普及に着手し学校給食に提供。18年には全国に先駆け有機米100%に。現在、有機野菜の提供も拡大中。

講義 III ————— 16:10 ~ 17:30

ゼロカーボンシティーを目指して

講師：太田 昇 氏 [岡山県真庭市長]



1975年3月京都大学法学部卒業。同年4月京都府に就職し、総務部財政課長、知事公室職員長(人事担当部長)、知事室長、総務部長を経て、2010年京都府副知事へ。13年4月真庭市長へ就任し現在3期目。SDGsを旗印に、地域資源を活かした木質バイオマス発電事業など、持続可能な地域づくりへ向け地方創生を推進中。

住民主体の地方自治を進めるために

2日目 10月23日(水)

講義 IV ————— 9:00 ~ 10:20

微生物の力で燃やせるごみを エネルギーに再資源化

講師：見澤 直人 氏 [エビス紙料株式会社代表取締役]



1978年、福井県に生まれ。学校卒業後は電気関連事業に従事。2005年にエビス紙料株式会社入社。入社後は設備保全業務に従事し、業務改善や新規事業プロジェクトに従事。09年より微生物による好気性発酵技術開発を始める。同時に取締役、22年同社代表取締役に就任。

講義 V ————— 10:35 ~ 11:55

SDGs の行政実務での活用

講師：高木 超 氏 [慶應義塾大学大学院
政策・メディア研究科 特任助教]



自治体職員等を経て、2019年4月から現職。総務省地域力創造アドバイザー、内閣府地域活性化伝道師のほか、川崎市等でSDGs推進アドバイザーを兼務。著書に『SDGs × 自治体実践ガイドブック 現場で活かせる知識と手法』など。

昼食・情報交換会 ————— 12:00 ~

講義 VI ————— 13:30 ~ 15:00

未来の子どもたちへ 地球を引き継ぐために

講師：谷口 たかひさ 氏 [環境活動家]



家を持たず世界を飛び回る環境活動家&実業家&作家。10代の時に起業し、イギリスへ留学。大学卒業後は、アフリカのギニアにおける学校設立に携わる。グローバルIT企業の取締役、ドイツでの起業などを経験。ドイツで気候危機の深刻さを目の当たりにし、環境活動家に。国連、国会、TEDxなど、世界中から講演に呼ばれ、講演回数は1800回を超える。主な講演内容は、気候変動と自己肯定感。映画『夢見る給食』にも出演。著者『シン・スタンダード』は、amazonと楽天ブックスで1位に。渡航歴は90カ国、保有資格は国家資格・国際資格を含め30個以上。

閉講式 ————— 15:00 ~ 15:15

議員同士の全国ネットワーク「清渓セミナー」に参加しませんか！

神宮球場の目の前に建つ日本青年館を舞台に、超党派の地方議員を主体とした実行委員会形式で開催している清渓セミナー。29回目の今年は、「環境」をテーマに皆さんと共に自治体の仕事を再考することとしました。近年の異常気象は凄まじく、地球温暖化ではなく地球沸騰と呼ばれるような状況が続いています。これに対応すべく、2020年10月、日本政府は「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。その実現のためには、様々な分野での環境に関する取り組みが求められており、それは地方自治体も例外ではありません。今回の清渓セミナーでは、環境に関する幅広い取り組みを学び、自分の自治体はどう行動するかを考えるきっかけとしたいと思います。また、清渓セミナーの良いところは、単に講演を聴くだけでなく、情報交換ができる仲間、本音で議論できる仲間が全国に広がるところでもあります。この秋、新しい出会いを青年館で！皆様のご参加を心よりお待ちしています。



江口 徹

実行委員長

(福岡県飯塚市議会議員)

第29回 清渓セミナー

主催：清渓セミナー実行委員会 共催：一般財団法人日本青年館

日時：2024年10月22日(火)～10月23日(水)

会場：日本青年館ホテル8F カンファレンスルーム

参加対象：地方議会議員等100名限定(他オンライン参加有)

参加申込：下記の申込書に記入し、FAXもしくはメールで下記までお送りください。

受領後一週間ほどで請求書をメールにてお送りいたします。

また、右記二次元コードの申込フォームからもお申込みいただけます。

<https://x.gd/qoczR> ▶

申込締切：2024年10月8日(火) 17:00 必着

参加経費：参加費 29,000円(税込) ※録画配信の視聴2ヵ月付



23日昼食・情報交換会(コーヒー・デザート付) 1,900円(税込) ※希望者のみ

宿泊：日本青年館ホテルでの宿泊はネット予約またはホテルパックで利用



できます。ご予約は右記QRコードより各自でお願いいたします。

<https://nippon-seinenkan.or.jp/> ▶



日本青年館ホテル 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1

清渓セミナー実行委員会事務局
一般財団法人日本青年館公益事業部内
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1 5F
澁谷 / 石田
TEL 03-6452-9012 (平日9時～17時)
FAX 03-6452-9026
MAIL seikei-seminar@nippon-seinenkan.or.jp

申込記入欄

FAX: 03-6452-9026

所 属 (議会名・会派名等)	(議員以外の方は勤務先をご記入ください)		
ふりがな 名 前		携帯電話	
		FAX	
住 所	〒	MAIL	日常的に受信できるPCアドレス
参加形態 (該当項目に丸印)	A. 日本青年館に来場参加 ※録画配信の視聴可	B. 当日のライブ視聴参加 (22日・23日・両日)	C. 後日オンデマンド配信を視聴 (22日・23日・両日)
領収書の要・不要	不要・必要 ▶ 宛名:議会名・会派名・名前・その他 ()		
23日の昼食情報交換会(税込1,900円)	申し込みます ・ 申し込みません		

※キャンセルポリシーは、添付の文書もしくはホームページをご確認ください。

令和 6 年度		1 会計		(款) 1	(項) 1	(目) 1	(節) 8	(細節) 1 費用弁償				
旅 行 者	氏名 江口徹ほか4名	用 務	清渓セミナー					備 考	江口徹 石川華子 小幡俊之 金子加代 藤堂彰			
		用 務 地	東京都 日本青年館ホール						※パック商品使用 羽田空港⇒福岡空港 食事なし(73,800円) ※食事なし(食事代相当額3,000円×2日=6,000円)			
月 日		発 着 駅 名	経 由	鉄 道 賃				JET賃	日 当	宿 泊 料		
				旅 程	運 賃	超・特・急	料金計			宿泊地	定 額	
10	21	新飯塚 ~ 博多			760		760	地下鉄	3,000	東京	14,800	
		博多 ~ 福岡空港										
		福岡空港 ~ 羽田空港						私鉄	25,100			
		羽田空港 ~ 浜松町										
		浜松町 ~ 新橋			150		150	地下鉄	520			
		新橋 ~ 外苑前										
10	22	日本青年館ホール						地下鉄	180	東京	14,800	
10	23	外苑前 ~ 新橋								3,000		
		新橋 ~ 浜松町			150		150	私鉄	260			
		浜松町 ~ 羽田空港										
		羽田空港 ~ 福岡空港						地下鉄	520			
		福岡空港 ~ 博多										
		博多 ~ 新飯塚			760		760	地下鉄	260			
経宿番号		計		1,820	0	1,820	52,120	9,000		29,600		
								合計金額		92,540		

政務活動費 研修会等報告書

(会派(議員)名 藤堂彰)

日時	令和 6年 10月 22日～23日
研修内容	<p>(研修名: 第29回 清渓セミナー「環境」)</p> <p>22日</p> <p>I 「進化する里山資本主義」 藻谷 浩介 氏 (地域エコノミスト)</p> <p>II 「オーガニック給食の実践」 鮫田 晋 氏 (いすみ市農林課有機農業推進班班長)</p> <p>III 「ゼロカーボンシティーを目指して」 太田 昇 氏 (岡山県真庭市長)</p> <p>23日</p> <p>IV 「微生物の力で燃やせるごみをエネルギーに再資源化」 見澤 直人 氏 (エビス紙料株式会社代表取締役)</p> <p>V 「SDGs の行政業務での活用」 高木 超 氏 (慶應義塾大学大学院 政策メディア研究科特任助教)</p> <p>VI 「未来の子供たちへ地球を引き継ぐために」 谷口 たかひさ氏 (環境活動家)</p>
所管等	<p>今回のセミナーのテーマは「環境」</p> <p>I 「進化する里山資本主義」 藻谷 浩介 氏 (地域エコノミスト) ★</p> <p>消費量は麦が一番多い。耕作放棄地では麦を育てるべき。 世界は令和だが、頭の中は昭和である。 その価値観で判断してはいけない。</p> <p>「日本はモノ作りでは勝っている。デザイン、戦略、経営力が課題である。」</p> <p>イタリア、スイスには国際経常収支赤字である。アメリカ、中国には勝っている。 1975／1004万人 2024／410万人 (0～4歳) 1975／280万人 2024／2000万人 (75歳以上)</p> <p>日本の実業率は2～3%である。失業率3%台を「完全雇用」と呼ばれる</p>

地方が非常に大事である。

「人は市資本に投資し利子を得る」

人的資本：ヒト（）

里山資本：モノ（田畠や山林）

物的資本：モノ（人工物）

金融資本：カネ

知的資本：情報



里山資本は里山資本を生む

日本は過疎地から再生する。

イスラムから学ぶ、大都市がない。海もない。人口の12%が外国人だが、外国人問題が小さい。なぜなら賃金が一緒であるから。そういしないと他国に太刀打ちできなかつた。地域の特性を生かすべきである。

数字を用いて論理的な講義であり、思い付きの政策提案ではなく、ファクトで見た政策提案が重要である。

II 「オーガニック給食の実践」

鮫田 晋氏（いすみ市農林課有機農業推進班班長）

農家「より安心安全なお米を提供したい」

→ 2015年：有機米4トンを学校給食に導入。

有機米の取組成果、、、

有機農業者ゼロから4年で産地を形成／学校給食における残食の減少／イメージアップと認知度向上／移住者の増加／農産物のブランド化／農業所得の向上／新規就農希望者の増加という結果が出た。

海外ではオーガニック給食が主流に。

R4全国で193団体有機農業を推進している。

農地を守るために農家を守ることが大事。

経営のサポートをしてあげる。←行政の役目

地場産有機米の予算は地方自治体の一般会計から。

→ 子供たちの健全育成

産業・地域振興

1. 経営リスクの回避

2.機会の無償貸し出し

3.技術サポート

2018年：有機野菜も学校給食に

農林課職員が仕分けのコーディネーターをしている。

どこも出せないときに給食センターに連絡する。

サイズは2L サイズの品種を探し出してやる。

有機栽培のマークがなかった為、シンボルマークを作成



1800ha (その内有機米60ha)

規模が違うので農協からの反対活動はない。

農業×福祉 「今後の可能性として」

いすみ市の取組からわかるように有機農業は多岐にわたり良い効果がみられている。

一般会計からの持ち出しにはなるが、進めていく効果はありそうである。。

しかし一番の問題は、仕組み、担い手、本気度である。

国は耕作放棄地を推奨しているが、当然ハードである。

III 「ゼロカーボンシティーを目指して」

太田 昇 氏 (岡山県真庭市長)

～前段～

議員の在り方を見直す必要がある。

都道府県会議員は政党色が強すぎる。

憲法の観点からみても、地方公共団体は地方政府でいいのではないか

(隈研吾 蒜山高原にある GREENable HIRUZEN)



写真是岡山県真庭市 蒜山高原にある GREENable HIRUZEN
(隈研吾建築都市設計事務所のデザイン)

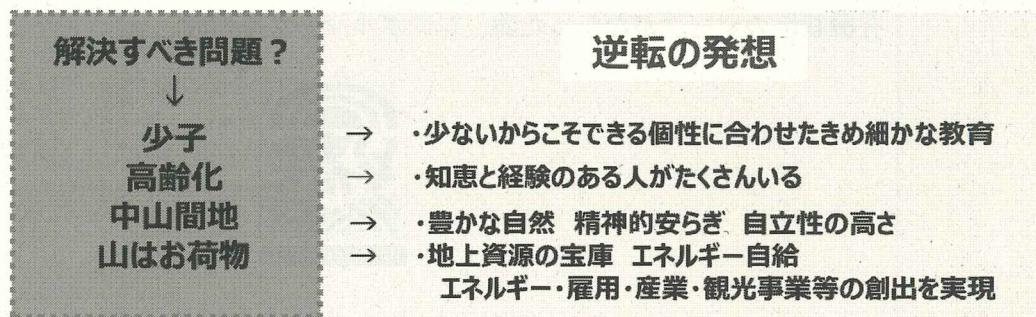
田舎を支えてきた人は農業高校や工業高校を出た方。
若者の自己肯定感を高める必要がある。学歴や職歴は関係ないのである。

真庭市のエネルギー自給率62%

バイオマスエネルギー+太陽光エネルギー+水力エネルギー市内全ての消費エネルギー

◆最終的な目標 「電力需要を全て地産の自然再生エネルギーで賄うこと」

「再生可能エネルギー自給率100%」の「エネルギー・エコシティ真庭」を目指す。



セカンド東京を目指すのではない。

農業地域は色々な意味で安定している（食料、エネルギー）

日本の過疎地がヨーロッパである、それでも国は回るのである。

政治は100年先まで責任を見るべきである。

「地域の資源を使い高い付加価値をつけていく」

アンケートに健康ポイント付与して、デジタルでアンケートを取る
生ごみとプラスチックは資源。その他の料金を高くした。

JRの配当を買った1億購入し240万配当

当時は10億購入しようとしたが議会に反対された。

※真庭市 財調300億（一般会計300億自治体）

「自治体運営ではない、自治体経営である」

改めて、行政経営の考え方を勉強しなおした。

地方の魅力を発見し、伸ばしていくことが、地方自治体の生存を高めるカギになると感じます。コストをかけずに、優先順位を明確にした、行政経営を心がけます。

23日

IV 「微生物の力で燃やせるごみをエネルギーに再資源化」

見澤 直人 氏（エビス紙料株式会社代表取締役）

株式会社エコマスター
微生物の好気性発酵の力で

日本の廃棄物処理の歴史

汚物掃除法（1900）→ 清掃法（1954）→ 産業廃物法（1970）→ 循環型社会形成推進法（2000）

初代三豊市長

「ごみは資源である。燃やさない」

次期焼却計画を白紙撤回。

全国公募で8社

「バイオマス資源化センターみとよ」

好気性乾燥乾燥方式

ごみ量 10000トン

固体燃料原料／1年間5000トン（石炭の代替燃料となる）

残り5000トンは水分として蒸発。

リサイクル率64%

施設稼働7年で苦情等はなし。燃焼がないため年間10000トン（日本人4500人分／約6,000世帯分）のCO₂の削減。

三豊市の小学校では、4年生になると「バイオマス資源化センターみとよ」を見学する。三豊市で育った児童にとって、ごみは燃やさずに微生物が処理することが、すでに当たり前になっている。

約1万トンのごみの処理には、約1万平方メートルの面積が必要になる。これでは都市部での導入は難しい。その一方で、土地が豊富にある人口が5万から10万人くらいの規模の自治体であれば、比較的導入はしやすい。

発酵温度は70度で、害虫などが死ぬ。

回収スキームは一緒。

しかしエコマスターが全国でやるのは厳しい。地方の企業が頑張らないといけない。

世界のごみ 埋め立て／海洋投棄である。

「循環型社会形成推進交付金」の対象

広い敷地／エネルギー需要家 が必要
→ セメント工場でも可能ではないか。

バイオマス資源センターみとよは世界から視察が来ている状況であり、微生物分解は最先端かつ合理的な施設だと感じる。飯塚市では220トン/日×2基でごみ処理施設建設の話

が進んでいる。必要なものではあるが700億以上のお金がかかる為、今後の飯塚市を考えると考え直してもいいのではないかと考える。

「ごみは資源であり、燃やさない」

世界の7割の焼却炉が日本である。

日本では焼却した方がお金になる。こういった社会を変えていかないと未来はない。

V 「SDGs の行政業務での活用」

高木 超（コスモ）氏（慶應義塾大学大学院 政策メディア研究科特任助教）
元自治体職員

SDGs実施指針（Sustainable Development Goals）17個

×Development=開発

○Development=発展

ジェンダーギャップ指数

日本118位／146か国

「なぜコスモという名前か？」

問い合わせを生み出す力を磨く。

2050年までに海洋プラスチックが魚の量を超過すると言われている。

（マイクロプラスチック直径5mm以下）

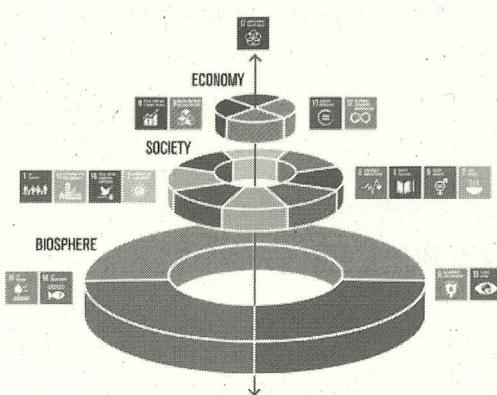
内陸の肥料カプセルが沿岸部に流れ出ている。

～京都府亀岡市～

プラスチック製レジ袋を条例で禁止している唯一の自治体

住民主導で動いていった。

トランسفォーメーション／常識や当たり前を変えていく。



リニアエコノミー（一直線型経済）

→ サーキュラーエコノミー（循環型経済）

MUD Jeans（オランダ）

インターリンケージ（すべてはつながっている）

公民連携を成功させるポイント-2つのずれ

1. スピード感
2. 言葉の意味

指標の活用

- ・231 グローバル指標
- ・256 地方創生SDGsローカル指標
- ・○○ 自治体オリジナル指標

VLR：自発的都市レビュー

VLRの地方自治体版、全国で7団体のみ

行政だけで解決しようとせず、多様な人企業が連携して目標達成に尽力することが重要である。

Q.世界中で温度差があるがどう捉えていいのか

A.温度差はある。地元地域の発展の為に活用することが大事。

VI 「未来の子供たちへ地球を引き継ぐために」

谷口 たかひさ氏（環境活動家）

環境問題は

ほとんど知らないという事は「みんなが知れば必ず変わる」

地方自治体でもごみゼロ宣言やバイオマスごみ処理や発電所など取り組んでいる自治体もある。

自分で考えて行動する「自立」が一番大事=とにかく動く

自己肯定感=自尊感情

を高めていく。

日本が直面している課題は他力本願である。

義務脳…権利脳

生き方に「正解」はない。「自分がどうしたいか」が大切である。

ルールは「正義」ではなく、「昔の人の都合」である。

「沈黙は容認」

「人と比べなくていい」

「集団は3.5%で動く」

世界各地で活動されていて、その実体験を伺い。

失敗を怖がってはいけない。

二日間の研修で議題ごとに多くの学びがあった。

本市にどう落とし込んでいくのか、まだ思考が追い付いていないが、きちんと自分なりに答えを出し、今後市政にコミットしていく。失敗を恐れずチャレンジしていくと思う。

予約検索

予約一覧

予約詳細

予約詳細

印刷用画面を表示

ご予約内容は以下の通りです。ご予約の状況をご確認ください。

出発日（ご利用日）	照会番号	商品名	代表者名	予約状況	料金
2024年10月21日(月)	CE319373	航空券+宿泊「ANAトラベラーズダイナミックパッケージ」	江口 徹 様	予約確定	369,000円 明細

出発日までのお手続き

お支払い関連	<p>ご入金済み</p> <table> <tr> <td>旅行代金</td><td>369,000円</td></tr> <tr> <td>ご入金額</td><td>クレジットカード</td></tr> <tr> <td></td><td>369,000円</td></tr> </table>	旅行代金	369,000円	ご入金額	クレジットカード		369,000円	クレジットカード お支払い方法
旅行代金	369,000円							
ご入金額	クレジットカード							
	369,000円							
領収書	「領収書発行」ボタンよりご確認いただけます。	領収書発行						
座席指定	指定済み	座席指定						
オンラインチェックイン	<p>＜オンラインチェックインが可能な期間について＞ オンラインチェックインは、ご利用便搭乗の24時間前からご利用いただけます。 「オンラインチェックインの操作ガイド」をご確認ください。</p> <p>＜オンラインチェックインの前に＞ オンラインチェックインを実施するには、座席指定が完了している必要があります。 オンラインチェックインサービスをご利用いただけないケースはこちらよりご確認ください。</p>	チェックイン						
お持ちいただく書類	<p>ご出発日の21日前（21日前を過ぎたご予約の場合は24時間以内）にお送りする「最終のご案内」メール到着後、こちらより印刷が可能となります。※弊社より郵送する書類はございません。</p> <p>eチケットお客様控 旅程表 購入明細書 旅のご案内 旅行中お問い合わせ先</p>							

お客様へのお知らせ

お申し込みの商品はご利用便・ご搭乗者名・プラン内容など、ご変更は承っておりません。変更をご希望の場合は改めてご予約をいただき不要なご予約を取り消してください（取消手数料が発生する場合がございますのでご確認のうえ操作をしてください）。

ANA便の普通席からプレミアムクラスへの変更について

追加料金にてプレミアムクラスへの変更を承ることができます。ご希望の際はご搭乗日の2日前以降に「航空券予約検索」ボタンよりお手続きください。

ご利用条件は[こちら](#)よりご確認ください。

また、プレミアムクラスへ変更された内容は、旅程・eチケットお客様控には反映されませんのでご注意ください。

<対象>

- ・予約に含まれている全てのお客様がANAマイレージクラブ会員であること
- ・予約に含まれている全てのお客様がアップグレードすること

[航空券予約検索](#)

ANA便の遅延・欠航時の振替について

台風・積雪など不可抗力に起因するANA便の遅延・欠航が発生した（する）場合は、ANA便への振替が可能です。

ご搭乗日の2日前以降に「航空券予約検索」ボタンよりお手続きください。

欠航時の振替手続きの詳細は[こちら](#)

[航空券予約検索](#)

オンラインチェックイン済みの場合、欠航時の振替手続きはオンラインチェックイン取り消し後に可能になります。

オンラインチェックインを取り消したい便を選択する場合は[こちら](#)

ANA便の遅延・欠航時の取り消しについて

振替をご希望されず、ご旅行のお取り消しの場合は、旅行開始前に取消料なしで解約することも可能です。

詳細をご確認の上、「取り消しする」ボタンよりお手続きください。

欠航時の取り消し操作についての詳細は[こちら](#)

*遅延・欠航対象便以外の場合は、振替・変更、および、取消料なしでの解約はできません。

[航空券予約検索](#)

取り消しする（全旅程・全旅客の取り消し）

オンラインチェックイン済みの場合、取り消し手続きはオンラインチェックイン取り消し後に可能になります。

オンラインチェックインを取り消したい便を選択する場合は[こちら](#)

*ご出発当日はインターネット上で全解約のご操作ができません。お電話でご連絡ください。

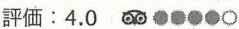
[取り消しする](#)

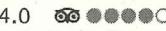
[取消料規定を見る](#)

旅程

お客様情報

旅程

商品名	航空券+宿泊「ANAトラベラーズダイナミックパッケージ」	エグチトオル	オバタシユキ	カネコカヨ	イシカワハナコ	トウドウアキラ
出発日	2024年10月21日(月)	様	様	様	様	様
旅程	お申し込み内容	ご利用数	予約状況			
1日目 10月21日 (月)	ANA 248 福岡 11:05 - 羽田 12:45 普通席	5席	予約確定	● (27A)	● (27C)	● (27D)
	東急ステイ青山プレミア【早トク28】28日前までの予約がお得な早期プラン♪外苑前駅より徒歩3分【1名利用】(朝食なし)禁煙 洋室 セミダブル モデレート 1名1室利用 食事なし MAP 評価: 4.0  247件のクチコミ	5室	予約確定	●	●	●

2日目 10月22日 (火)		東急ステイ青山プレミア【早トク28】28日前までの予約がお得な早期プラン♪外苑前駅より徒歩3分【1名利用】(朝食なし) 禁煙 洋室 セミダブル モデレート 1名1室利用 食事なし MAP 評価: 4.0  247件のクチコミ MAP	5室	予約確定	●	●	●	●	●	
3日目 10月23日 (水)		ANA 267 羽田 18:00 - 福岡 19:55 普通席	5席	予約確定	● (20H)	● (20G)	● (20J)	● (20K)	● (20F)	
旅程を送信										
Google Calendar		Apple Calendar			1名様ごとの旅行代金	73,800円	73,800円	73,800円	73,800円	73,800円
					明細					

 旅CUBE ~空港アクセス検索~

空港までの最適ルートをご案内。
鉄道やバスなどおトクなチケットも購入可能。

[往路のルートを検索](#) [復路のルートを検索](#)

サービスメニュー



AIチャットボットに質問する

[国内線運航状況](#)

[マイル積算方法](#)

[ニッポンレンタカーWEBチェックイン](#)

[お見舞金サービス](#)

[運航に関するお知らせメールの登録](#)

[クチコミでマイルをためる](#)

[国内旅行傷害保険](#)

[オンラインチェックイン](#)

[マイル事後登録](#)

[旅のアンケート](#)

[予約一覧](#)

[▲ページトップへ戻る](#)

[プライバシーポリシー](#)

[サイト利用規約](#)

利用者情報の外部送信について

[推奨環境](#)

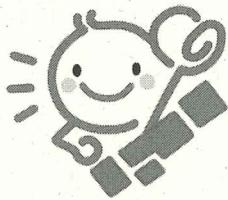
[サイトマップ](#)

[標識、約款、旅行条件](#)

[ウェブアクセシビリティについて](#)

外部サイトの場合はアクセシビリティガイドラインに対応していない可能性があります。

Copyright ©ANA、ANA X



2025年1月吉日

全国若手議員の会 会員各位

九州若手議員の会 会長
井上 麻衣（福岡県福岡市）

全国若手議員の会九州ブロック研修会@佐賀のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より当会の活動に対しまして、格別のご高配とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

新体制に移行して第一回目の九州ブロック研修会になります。今回は久々の佐賀県開催ということで、初日に「地方から世界へ羽ばたくアスリートを～SAGA スポーツピラミッド構想～」。2日目に吉野ヶ里歴史公園内を運行している自動運転モビリティの観察(試乗)を計画しています。初日は昨年開催された国スポ・全障スポからのレガシーをどう残していくかという課題であり、今後開催地となる都道府県でのプラットフォーム作りにも役に立つのではないと考えております。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、ぜひご参加をお願いいたします。

敬具

記

開催日：2025年2月4日（火）～2月5日（水）



場所：佐賀県佐賀市（初日）吉野ヶ里町（2日目）

参加資格：現役会員及び会員対象者、OB

申込方法：Google フォーム→

<https://forms.gle/GXzPKsr2dRaPFg2Y9>

申込締切：1/24（金）正午

◎日程・研修内容

研修テーマ 「官民・官学で取り組む次世代へ繋ぐプラットフォームづくり」

○1日目 2月4日（火）

【研修①】14:00～16:00

「地方から世界へ羽ばたくアスリートを～SAGA スポーツピラミッド構想～」

講師：佐賀県庁「SSP2024・SSP推進局」日野総括監

場所：SAGA プラザ 1F 研修室

（佐賀市日の出1丁目21-15）

JR 佐賀駅から徒歩15分（1.5km）の距離です。

※終了後、SAGA アリーナ施設見学を調整中

○2日目 2月5日(水)

【研修②】10:00~11:30

「広い園内の敷地で移動を助ける、AI自動運転モビリティ」

講師：調整中

場所：吉野ヶ里歴史公園西口～遊びの原

(神埼郡吉野ヶ里町田手 1843)

JR 吉野ヶ里公園駅から徒歩15分(1.4km)の距離です。

※入場料600円が必要になります。

宿泊について

- ・東横INN 佐賀駅前(佐賀県佐賀市駅前中央 1-10-36)
<https://www.toyoko-inn.com/index.php/search/detail/00045/>
- ・ホテルルートイン佐賀駅前(佐賀県佐賀市駅前中央 1-9-50)
https://www.route-inn.co.jp/hotel_list/saga/index_hotel_id_244/
- ・アパホテル 〈佐賀駅前中央〉(佐賀県佐賀市駅前中央 2-6-14)
<https://www.apahotel.com/hotel/kyushu-okinawa/saga/saga-ekimae-chouou/>
- ・サガシティホテル(佐賀県佐賀市駅前中央 1-7-31)
<https://www.sagacity-hotel.com/>

その他にも佐賀駅周辺にはホテルが複数あります。詳しくは「ホテル 佐賀駅周辺」で検索してもらうと出てきます。

【ご参加される方へ重要なお願い】

Google フォームにて参加申し込みをされましたら速やかに以下オープンチャットに入室してください。

九州研修参加者連絡オープンチャット(LINE 機能) ↓↓↓

「2025.2 若手議員の会九州ブロック研修@佐賀 参加者オープンチャット」

https://line.me/ti/g2/ghIKH1GCZgZrSFw2SeXB4KweXgxGHskATFMzoQ?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default



【問い合わせ先】

九州若手議員の会 事務局長：中村 恵輔 (福津市議会)

info@keisuke-n.com

080-2790-8329

最新情報、出欠確認については LINE にて共有いたしますので、併せて確認ください。

旅 行 者	氏名 藤堂 彰	用 務	全国若手議員の会九州ブロック研修会@佐賀 (主催:全国若手議員の会)					備 考	・(1日目)懇親会出席 ・(2日目)10時00分～研修			
		用 務 地	・佐賀県佐賀市日の出1丁目21-15 SAGAプラザ ・佐賀県神崎郡吉野ヶ里町田手1843 吉野ヶ里歴史公園西口～遊びの原									
月 日	発 着 駅 名	経 由	鉄 道 費					賃	日 当	宿 泊 料		備 考
			旅 程	種 別	運 費	超・特・急	料 金 計			宿泊地	定 額	
2 4	新飯塚 ~ 佐賀	博多・鳥栖		JR	1310		1,310		3,000	佐賀市	13,300	88.2km
2 5	佐賀 ~ 新飯塚	博多・鳥栖		JR	1310		1,310		3,000			88.2km
経宿番号		計			2,620	0	2,620		0	6,000		13,300 0
								合計金額				21,920

政務活動費 研修会等報告書

(会派 (議員) 名 藤堂彰)

日時	令和 7年 2月 4日～5日
研修内容	<p>(研修名：全国若手議員の会 研修会～佐賀～)</p> <p>研修1：「地方から世界へ羽ばたくアスリートを～SAGAスポーツピラミッド構想～」</p> <p>講師：佐賀県庁「SSP2024・SSP推進局」日野総括監</p> <p>場所：SAGAプラザ 1F研修室</p> <p>研修2：「広い園内の敷地で移動を助ける、AI自動運転モビリティ」</p> <p>講師：久留米工業大学 東教授</p> <p>場所：吉野ヶ里歴史公園西口</p>
所管等	<p>研修1</p> <p>SSPとはスポーツをどういう切り口で政策につなげていくか。</p> <p>地方とスポーツは距離が近い。地方特有の現象。都会とは違う</p> <p>佐賀・スポーツピラミッド・構想 (SSP) 2018年～</p> <p>今までの行政は、国体を逆算して予算を投じていた。瞬間最大風速的に繰り返している。</p> <p>目指すべき将来</p> <ul style="list-style-type: none">・<u>アスリートがスポーツで食べていける社会</u>・<u>スポーツを活かしたビジネスシーンが広がる社会</u> <p>SSP構想でスポーツ文化 (する/育てる/観る/支える/稼ぐ)</p> <p>今のスポーツには稼ぐ概念が小さい。もっとフォーカスを充てるべき。</p> <p>佐賀県内に県立校の寮が3つ。九電（佐賀市）・久光（鳥栖）・肥前建設（太良）の未使用寮を活用。個々のケースで組み方を決めていった。有休資産の活用。</p> <p>西九州大学：スポーツ健康学科</p> <p>学長を話をして、アスリートを育てる教員の採用を促した。県が機器の購入。</p> <p>一般市で何ができるのか、どう落とし込んでいくのか。</p> <p>スポーツビジネス</p> <p>スポーツホスピタリティ</p> <p>JTBと協業して研修パーティー開催 1人/50000円</p> <p>Q. アリーナの交通渋滞はどうなっているのか。</p> <p>A. 渋滞が予測できたため、駐車場を設置していない。佐賀駅から徒歩15分なので問題ない。</p>

Q. 民間出身者の処遇はどうなっているか。

A. 配属の時に、今までのキャリアが活かせる部署に配属している。県庁では民間出身者が15%もおり、全国1位である。民間の雰囲気や感覚が県庁と融合しており、良い雰囲気である。

佐賀アリーナ構想は明確にリソースを配分し建設されている。

地方自治体は今後厳しい、自治体経営を強いられる。

地域とのコンセンサスをとり、どういった戦略を持って、税金を使用していくのか。いまこの瞬間決断しなければいけない時である。

研修 2

吉野ヶ里歴史公園でのAI自動運転モビリティの視察を行いました。

全国でみても、先進的な事例とのことで、これがすぐに飯塚市で運用できるのかといわれればそうではありませんが、今回のケースでは、県が主導になって、国と企業も協力している事業であり、この関係性は参考になる案件と感じました。

飯塚市も今後国や県と連携をして、何らかの実証実験を進めていくことは本市にとってもプラスの要因になるのではないかと考えます。理由としては、企業の提案力・ファイナンス力・公にない機動力です。企業リソースを活用することで、市の発展に寄与するものだと考えます。

私の立場からも、良い企業を探っていきたいと思います。